

(別紙)

提出書類の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 <input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書(変更)				
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	宮崎県都城市下川東4丁目28号1番				
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	霧島酒造株式会社 代表取締役 江夏 順行				
主たる業種	蒸留酒・混成酒製造業				
事業概要	単式蒸留しょうちゅう製造・販売				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第4号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者				
計画期間	R4年度～ R6年度				
排出状況及び目標	目標設定の方法	基準年度の実績① (R3)年度	前年度の実績 ()年度	目標年度② (R6)年度	増減率 (②-①)/①×100
	総排出量	18,060 t-CO ₂		17,516 t-CO ₂	▲3.0 %
	原単位の排出量	224.4 t-CO ₂		217.6 t-CO ₂	▲3.0 %
原単位の考え方	焼酎製成数量1千kLあたりの排出量				
目標達成のための基本方針	令和6年度までに、基準年比で原単位3.0%排出量を削減する。				
目標達成のための推進体制	環境マネジメントシステムの専門委員会であるエネルギー管理委員会を中心に、工場の省エネルギー活動に取組み、温室効果ガスの排出抑制を推し進めている。				
目標達成のための措置の内容	省エネルギーの年度目標を設定し、その実現を図り、それらを定期的にレビューする。				
特記事項	・焼酎製造工程から排出される植物性残渣(焼酎粕)をメタン発酵処理し、発生するバイオガスを焼酎製造工程のボイラ燃料に利用している。またバイオガスの一部は発電利用され、発電電力の一部は工場内施設に供給されている。これにより工場から発生する二酸化炭素を大幅に低減している。				

- 備考 1 「基準年度」は、原則として計画書を提出する年度の前年度とすること。ただし、提出者が別に基準となる年度を定めている場合は、当該年度を基準年度とすることができる。
- 2 提出者の計画が温室効果ガス排出量削減に向けた取組であるにもかかわらず、事業拡大等の理由により温室効果ガス排出量が増加する見込みである場合は、原単位による目標を設定することができる。この場合、「原単位の排出量」とは、「総排出量」を当該年度の生産数量、建物延床面積その他の温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値で除して算出した値とし、併せて「原単位の考え方」についても記入すること。